

## 2019年3月清水FCジュニアユースU14第7回台湾遠征報告書

今回の台湾遠征は、清水FCジュニアユースとして7回目となる機会に、台湾屏東県政府のご協力で第1回新南向国際サッカー大会「Akauw Cup」が屏東県で開催されることになりました。そこで、屏東駅近くの天然芝の立派な競技場で、8人制の本大会に、清水FC21名が青と白の2チームに分かれて参加させていただきました。4日間の大会の結果、清水FC白チームが優勝、青チームは4位でした。

清水サッカー協会の西村理事長のご尽力と、各方面関係機関の皆様のご協力のおかげで、アジア5カ国7チームによる4日間のすばらしい大会に参加させていただき、台湾遠征を無事に終えることができたことに感謝します。選手はサッカーだけでなく、各国の選手と楽しく交流できたことで、アジア地域に目が向き、友好につながる機会をとったことにも感謝しています。ありがとうございました。

清水FCジュニアユース 代表 中村栄

今回の遠征は今まで台湾の中学生との交流だけでしたが、タイ・ベトナム・シンガポール・台湾・日本（中国は棄権）の5か国で国際交流戦になりました。

8人制ということで普段はやっていない、あまり慣れていないという事もありましたが各選手のレベルで良く考え対応できたと思います。また、気温も着いた時は雨天でしたが、大会中は30度ある中で体も動いたと思います。

課題としては、U-14で8人制ですとリアクションでの対応になりがちで、攻撃でフィニッシュまで行けるのはカウンターだけになってしまい、相手のブロックができている状態からの人とボールを動かしての崩しが殆ど出来なかった事が今後、11人制でも必要となる課題となると思います。

また、4か国の選手と交流できる場もあり、他国の選手の積極的な部分はかなり影響を受け今後の選手達の将来に向けても良い経験になったと思います。8日間と長い期間の遠征でしたが、ケガ、事故もなく終えた事は大変良かったです。今後の活動に活かせていただきたいと思います。

清水FCジュニアユース コーチ 佐藤敏之

### 清水FCジュニアユース試合結果

#### 予選Aリーグ

3月24日

清水FC青 2対0 マレーシア新山寛柔中学

3月25日

清水FC青 0対2 屏東県長治國中学

清水FC青 不戦勝 中国力邦国際

#### 予選Bリーグ

3月24日

清水FC白 0対0 高雄市立阿蓮國中

3月25日

清水FC白 1対0 ACアカデミー タイ

清水FC白 12対2 Archimedes アカデミー(ベトナム)

#### 決勝トーナメント

3月26日 清水FC白 2VS0 清水FC青

3月27日 3,4位決定戦 清水FC青 1対3 ACアカデミー タイ 清水FC青 第4位

決勝戦 清水FC白 1対0 屏東県長治國中学

清水FC白 優勝



## 清水 FC ジュニアユース参加選手感想

### 1 台湾と日本の文化を比べて

- ・食事が違っていて、いろいろな料理に含まれていた香辛料は日本にはないものでした。また、赤信号でも歩行者に向かってくるバイクや車も多く見られた。(KS)
- ・環境が日本と違い、日本に住んでいてよかった、幸せだと思った。(MK)
- ・台湾原住民族の歌とダンスを見て、日本にはない文化を実感した。(IH)



清水 FC 白 VS タイ

13/25

### 2 8人制の試合をやってみて

- ・8人制では、どんどん移動して空いたところを埋めていく運動することをやったので、U15リーグでも生かしていきたい。(IH)
- ・コートが狭いからどこでボールを失ってもすぐにピンチになってしまった。だから、ボールを動かしながら失わずにゴールにつなげるようにした。11人制に比べて攻守の切り替えを速くしないといけないと思った。(HD)



表彰式 優勝 清水 FC 白の選手  
屏東県副知事と西村理事長

### 3 遠征での自分の成長や課題

- ・DFを主にやったので、守備での対応、ラインコントロール、がうまくなかったと思う。だけど攻撃の時にパスミスやトラップミスをしたので、基礎のところをしっかりできるようにしていきたい。(YK)
- ・怪我で試合に出られなかつたが、コミュニケーション能力やさまざまな場面での対応力など、サッカーでも必要な力を補えたと思う。(KR)
- ・自分に自信がもてるようになった。体が大きい相手とでもパスをつなげてゴールまでいくことが通用した。しかし、ゴールを決められないことが課題となつた。(FR)
- ・日本にはない食べ物に挑戦して、苦手な物を克服できた。KY)



第1回 新南向国際サッカー大会優勝の賞状  
清水 FC 白チーム